

新連載!

流川のカツパくん

第1話 作:ミルルベっぷ 「流川通りの誕生」



流川だけに
カツパの川流れ
気持よく流れていく



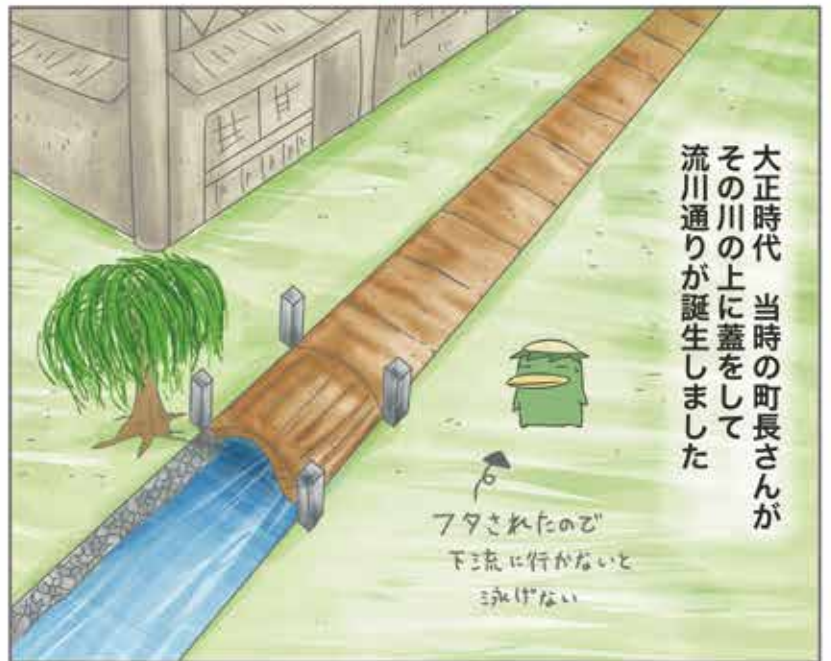
ここは大分県別府市
明治時代の流川通り

湧き出した温泉の流れる
珍しい湯川がありました
その名も流川



流川通りの海の出口には、
日本で9番目の港が整備され
海の玄関口として
沢山の人が訪れるようになりました

そして、その船の着く
場所の前には
観光バスの会社ができました
別府観光の父である
油屋熊八さんが作った
亀の井バスです
日本初のバスガイドを乗せた
観光バスが誕生しました



大正時代 当時の町長さんが
その川の上に蓋をして
流川通りが誕生しました

フタされたので
下流に行かないと
泳げない



川の上に道を作り削った流川通り
実は一部今も地上に出て
流れている所があります
場所は秘密です

明治のプラタモリ
別府が紹介された事
この流川の流川の名が
紹介されました
流川通りがあった
松下金物店の
主人がプラタモリさん
このことを知りまして
ぜひお客の案内に
したいと



今もこの通りの下には流川が流れています
昭和35年頃、一回道を掘り直したときに、
あるお店の床下から
橋の欄干がでてきました

流川に架かっていた名残橋
という橋の欄干とすり、
今も川の名残として
「お菓子屋の看板」さんの
前に飾っています



ここは名高き流川
情けもあつき湯の街の
メインストリートの大通り
旅館商店軒並び
不夜城でございませーす

当時のバスガイドさんの
流川通りの紹介文句です

街は大きな発展を遂げました